

「KOBE 2024」



世界パラ陸上

子ども記者のみんな



子ども記者新聞

No.2

小学3年生～5年生の子どもたちによる「子ども記者団」が、パラ陸上選手の義手や義足、競技用車いすを作っているメーカーさん取材！ 子育てサイト「未来へいこーよ」に掲載された記事の一部をダイジェストでお届けします。

義手や義足を製作するメーカーさん取材！ パラ陸上アスリートの頼れる相棒はどう作られる？



工場では一人ひとりにあわせてさまざまな義手や義足を作っています。できた義足がしっかり動かか確認し、微調整をするのに人の手が欠かせません。

ウミガメの「ヒレ」も作りました！

第1回の取材で子ども記者がとくに興味を持ったのが義足でした。そこでおおしまかなみ記者(小学5年生・兵庫県)ときのしたこうき記者(小学3年生・奈良県)が、取材した前川楓選手の義足を製作したことで知られる川村義肢株式会社をおとずれました。



工場内にはサメに前ヒレを食べられたウミガメのヒレを作った写真も。人間だけでなく、動物の脚やヒレを支える技術の高さに子ども記者もおどろいていました。



現在作られている義足のサンプルもあり、実際にさわってみることができます。シリコンでできた足をさわって「本物みたいにやわらかくてすべすべしてる！」と子ども記者の二人も感心していました。



体の型をとるゲル状の素材で、子ども記者の指の型を取ってみます。こうき記者は肌にひんやりとしてピッタリとくっつく感触にとまどっていました。



車いすメーカーさん取材！ 選手の理想を現実に！

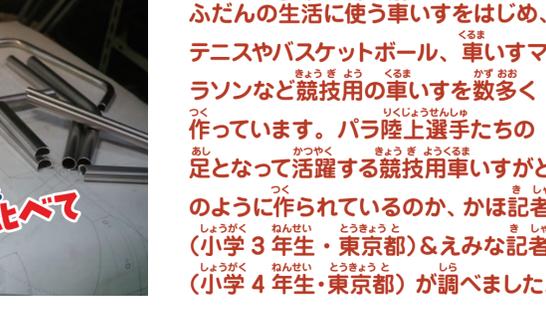


車いすのこぎ方や、ハンドルの操作を少し説明しただけで、子ども記者はすぐに乗れるように！

車いすを溶接しているところを遠くから見学。パチパチッと大きな音と強い光が出る様子は大迫力！ 子ども記者が(大人も)思わず息を飲んで見守ります。



溶接や組み立て加工の場所には設計図も置かれています。実際に設計図の上に置いてあわせることで、設計図どおりにできているかを確認しています。



部品を設計図と比べて正確に作る！

ウェブ版では子ども記者が技術者にインタビュー！

子育てサイト「未来へいこーよ」のウェブ版の記事では、2つのメーカーさんの技術者に子ども記者がインタビューをしています。QRコードからぜひ読んでみてください。



広報の櫻田さん(写真左)とパラリンピックに出場する選手の競技用車いすも製作する小澤さんがインタビューに答えてくれました。

その迫力、その感動、東アジア初。

World Para Athletics CHAMPIONSHIPS KOBE 2024

KOBE 2024 世界パラ陸上競技選手権大会

2024.5.17 fri - 25 sat

神戸総合運動公園ユニバー記念競技場

子どもたちがパラスポーツ観戦で学び感動に触れる機会を支援しませんか？

ONE クラス 応援制度

皆さまからいただいたご支援(105万円～)で学校1クラス分の子どもたちを神戸2024世界パラ陸上に招待します！

2024年は世界のパラ陸上選手を神戸で見られる！

リハーサル大会も取材した第1回の記事はこちら

スポーツくじ

WINNER COCO BIG

スポーツ振興くじ助成事業